

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名（分野名）	心理学 教室
課程	博士前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☒ 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	基礎知識
出題の意図	心理学の諸分野の基礎知識を問うために出題した。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度 人文科学研究科 博士前期課程

2 月試験問題：専門分野基礎知識

心理学分野

- ・ 設問は、全部で 12 項目あります。そのうち 5 項目を選択して解答してください。
- ・ 項目ごとに、異なる解答用紙を用い、日本語で解答して下さい（固有名詞・略語などその限りではありません）。
- ・ 解答用紙の「授業科目」欄に、解答する項目番号を必ず記入して下さい。
- ・ 白紙で提出する場合も、解答用紙に項目番号と氏名を記入して提出して下さい。

受験番号

氏 名

この問題用紙を持ち帰ってはいけません

2025 年度（2 月）人文科学研究科 博士前期課程試験問題

心理学分野：専門分野基礎知識

以下の 12 項目のうち 5 項目を選択し、それぞれについて説明しなさい。項目ごとに異なる解答用紙を用い、解答用紙の「授業科目」欄に 101, 102, 103 ……などの項目記号を必ず記入すること。

- 101. 全体報告法と部分報告法
 - 102. ジェームズ・ランゲ説とキャノン・バード説
 - 103. 連関の検定
 - 104. 不偏推定量
 - 105. 心理物理学
 - 106. プレグナンツの法則
 - 107. モラトリアム
 - 108. 気質と性格
 - 109. 関係的自己
 - 110. Gilbert の 3 段階モデル
 - 111. KJ 法
 - 112. 異常心理学
-

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名（分野名）	心理学 教室
課程	博士前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☒ 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	論文
出題の意図	心理学の諸分野の研究の基礎となる理論や概念を論理的に説明する能力を問うために出題した。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度 人文科学研究科 博士前期課程

2 月試験問題：論文

心理学分野

- ・ 問題は 7 問あります。そのうち 3 問を選択して解答して下さい。
- ・ 項目ごとに、異なる解答用紙を用い、日本語で解答して下さい
(固有名詞・略語などその限りではありません)。
- ・ 解答用紙の「授業科目」欄に、解答する問題番号を必ず記入して下さい。
- ・ 白紙で提出する場合も、解答用紙に問題番号と氏名を記入して提出して下さい。

受験番号

氏 名

この問題用紙を持ち帰ってはいけません

2025 年度（2 月）人文科学研究科 博士前期課程試験問題
心理学分野：論文

以下の 7 問から 3 問を選択して答えなさい。問題ごとに異なる解答用紙を用い、解答用紙の「授業科目」欄に必ず問題番号を記すこと。

1. 質問紙によるパーソナリティ検査における類型論と特性論を、それぞれの長所と短所を比較しながら論じなさい。
2. ストレスのトランスアクショナルモデル (transactional model) における認知的評価のプロセスについて説明しなさい。
3. 感情の理論について、基本感情説と次元説を比較しながら論じなさい。
4. 対応の無い 2 要因の分散分析について説明しなさい。
5. 恒常法と心理測定関数について論じなさい。
6. 外在化型問題行動と内在化型問題行動の違いについて、具体的な例を挙げて説明しなさい。
7. ステレオタイプの機能について説明しなさい。

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名（分野名）	心理学・臨床心理学 教室
課程	博士前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☒ 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	英語
出題の意図	（1）心理学および臨床心理学の実証文献を読解するために必要な、専門知識や統計的知識を持っているか問うため、英語の語彙力および英文を論理的に把握する能力を問うため、出題した。 （2）心理学および臨床心理学の英語文献を読解するために必要な専門知識と英文の文意をつかむ能力および語彙力を問うために出題した。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度（2 月入試）人文科学研究科

心理学分野・臨床心理学分野

博士前期課程 試験問題：英語

設問は 2 問あります

解答には、それぞれ別の解答用紙を用いてください

受験番号

氏 名

この問題用紙を持ち帰ってはいけません

(1) つぎの英文を読み, 問 1 から問 4 に答えなさい。解答は心理総合英語解答用紙に記入すること。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29

30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務系の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務系の窓口で閲覧してください。

(Jiang, D., Lay, J. C., & Fung, H. H. (2024). Older adults experience better affective well-being in
solitude: The moderating role of goal for conflict de-escalation. *Applied psychology. Health and well-
being*, 16(3), 1367–1385. <https://doi.org/10.1111/aphw.12533> より改変)

設問

問1 22 行目の下線部①「environmental influences」について、具体例を挙げて説明しなさい。

問2 本実験における要因の操作方法について、本文に則して説明しなさい。

問3 FIGURE の空欄部分 (a~e) に当てはまる適切な単語を下記の選択肢から選んで解答用紙に記入しなさい。

- | | | | |
|----------------------|-----------|------------|------------|
| ・ Positive | ・ Neutral | ・ Negative | ・ Solitude |
| ・ Social Interaction | ・ Older | ・ Younger | |

問4 本研究において 81 行目から始まる下線部②のような考察が成立するのはなぜか。その理由を説明しなさい。

- (2) つぎの英文の要旨を、400 字以内の日本語でまとめなさい。解答はマス目のある解答用紙に記入すること。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務系の窓口で閲覧してください。

出典 Hong, B., & Barense, M. D. (2023). Memory Loss and Aging: How Can We Use Smartphones to Better Remember? *Frontiers For Young Minds*, 11:1166183 を
 改変

下書き用紙

